

## 身体拘束 グループワーク

### グループワーク 1

- ①これまでの経験や現在の職場で「身体拘束にあたるのではないか？」と思われる経験・行為を発表する。
- ②それについて身体拘束にあたるのか話し合う。  
(どこが身体拘束にあたるのか・なぜ身体拘束ではないと思うのか など)

### グループワーク 2 (現在、身体拘束を行っている人がいる場合)

- ①身体拘束に至った経緯
- ②身体拘束を行っていることによる問題点
- ③身体拘束以外の問題の解決方法
- ④身体拘束をやめるための行動計画

### グループワーク 2 (身体拘束を行っている方がいない場合)

次の事例をもとに

- ①身体拘束を行っていることによる問題点
- ②身体拘束以外の問題点
- ③身体拘束以外の問題解決策
- ④身体拘束をやめるための行動計画

要介護 4 男性 認知症があり意思疎通は困難

立位・歩行は不可 夜間せん妄あり

夜間せん妄がみられ興奮状態から暴力行為がある。

ベッド上での体動も激しくベッドからの転落を繰り返しているため、転落防止のため 4点柵を使用となる。

柵を乗り越えようとする姿も見られ危険である。

(細かい部分は想像力を働かせて考えてください。)